

## 請負事業体及び立木販売における災害発生報告(休業4日以上)

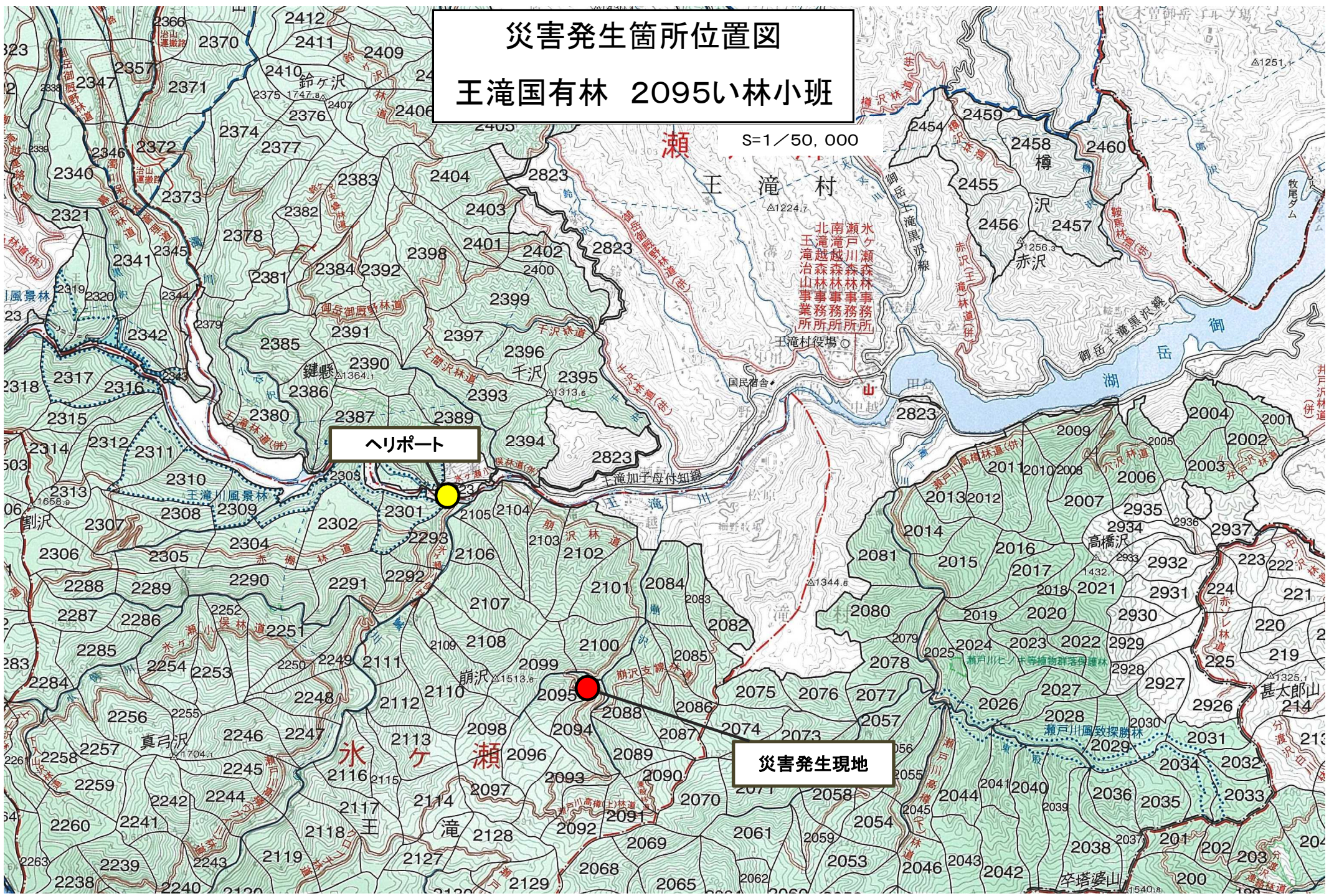
27-7

1 署 等 名	木曾森林管理署
2 事業の種類	請負事業 (造林: 森林環境保全整備事業 (保育間伐活用型ほか))
3 災害発生日時等	平成27年12月24日(木) 10時50分頃発生 怪我の程度: 頭部打撲、肋骨骨折 休業見込み: 3週間程度
4 災害発生場所	長野県木曾郡王滝村 王滝国有林2095い林小班
5 契約相手方	王滝林業有限会社 代表取締役 中島 哲男
6 事業実行事業体	同上
7 被災者年齢等	年齢: 29歳 性別: 男 2の事業の経験年月日: 5年 雇用区分: 常用 社会保険等加入状況: 労災、雇用、健康、厚生、林退
8 従事作業	造材作業(端材片付け及び荷外し作業を含む)
9 災害概況	<p>当日被災者は、同僚6名と機械集材装置による集造材作業に従事していた。(集材機運転: 1名、造材・荷外し: 2名、先山伐倒: 3名、荷掛(架線作業主任者): 1名)</p> <p>被災者は荷卸し盤台で造材作業を行った後、端材等の片付けを行っていた。</p> <p>10時40分頃、カンバ1本(末口46cm、材長4.6m、0.995m<sup>3</sup>)を吊ったキャレージが架線支間の中間付近にさしかかったところ、主索を止めていた先柱側のアンカー(ヒノキ根株径32cm、高さ75cm)が引き抜け主索が落下したため、端材を片付けていた被災者の頭部右側に当り、その反動で転倒した際に盤台の敷木に左胸部を打ち付け受災した。</p> <p>災害発生後、同僚が直ちに会社へ連絡を行い、駆けつけた救急車で氷ヶ瀬ヘリポートに向かい、ドクターヘリで信大病院(松本市)へ搬送した。</p> <p>なお、現地の状況からアンカーが引き抜けた原因は、4個のスタンプのうち2個が、地形上の制約からアンカーを上引っ張るような状態になっていたためと推測される。(最大使用荷重は約1.2トンで、カンバの重量は1.1トン程度であったと推測される。)</p>
10 その他特記すべき事項	



# 災害発生箇所位置図 王滝国有林 2095い林小班

S=1/50,000



ヘリポート

災害発生現地

- 北水瀬川森林事務所
- 南水ヶ瀬川森林事務所
- 王滝越山森林事務所
- 王滝治山森林事務所



# 災害発生箇所位置図

## 王滝国有林 2095い林小班

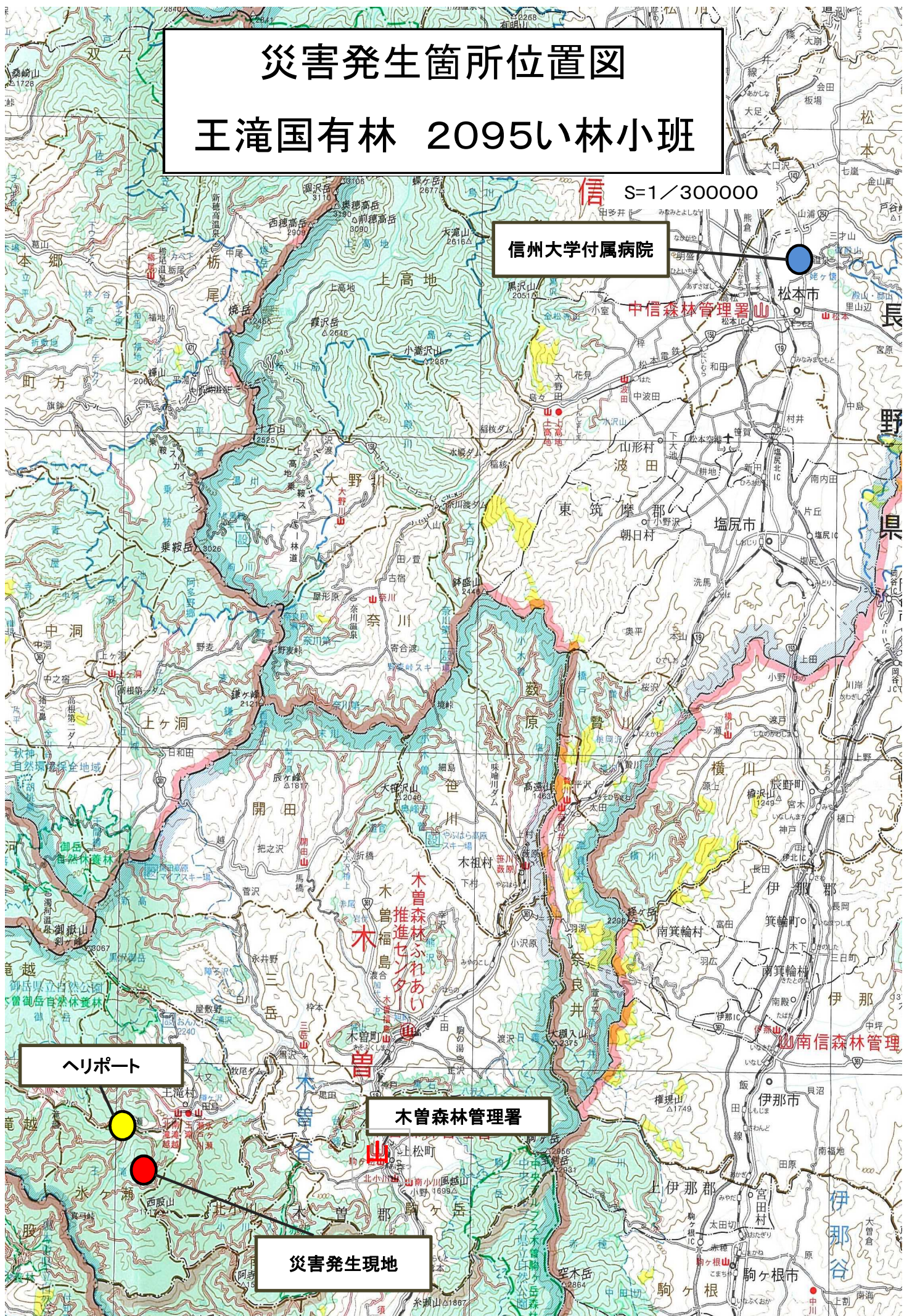
信 S=1/300000

信州大学付属病院

ヘリポート

木曽森林管理署

災害発生現地



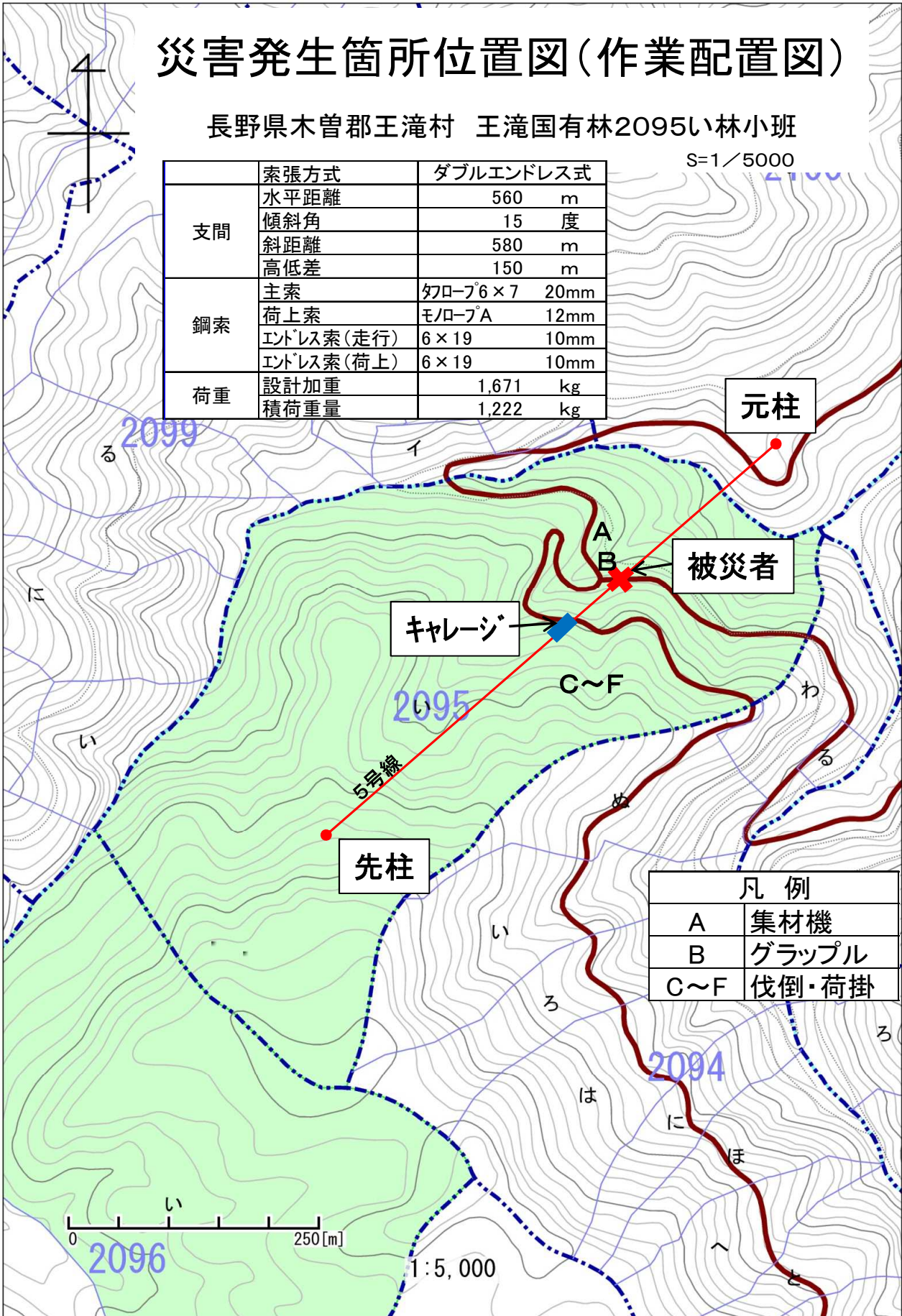


# 災害発生箇所位置図(作業配置図)

長野県木曾郡王滝村 王滝国有林2095い林小班

S=1/5000

索張方式		ダブルエンドレス式	
支間	水平距離	560	m
	傾斜角	15	度
	斜距離	580	m
	高低差	150	m
鋼索	主索	7/16φ6×7	20mm
	荷上索	モノロープA	12mm
	エンドレス索(走行)	6×19	10mm
	エンドレス索(荷上)	6×19	10mm
荷重	設計加重	1,671	kg
	積荷重量	1,222	kg



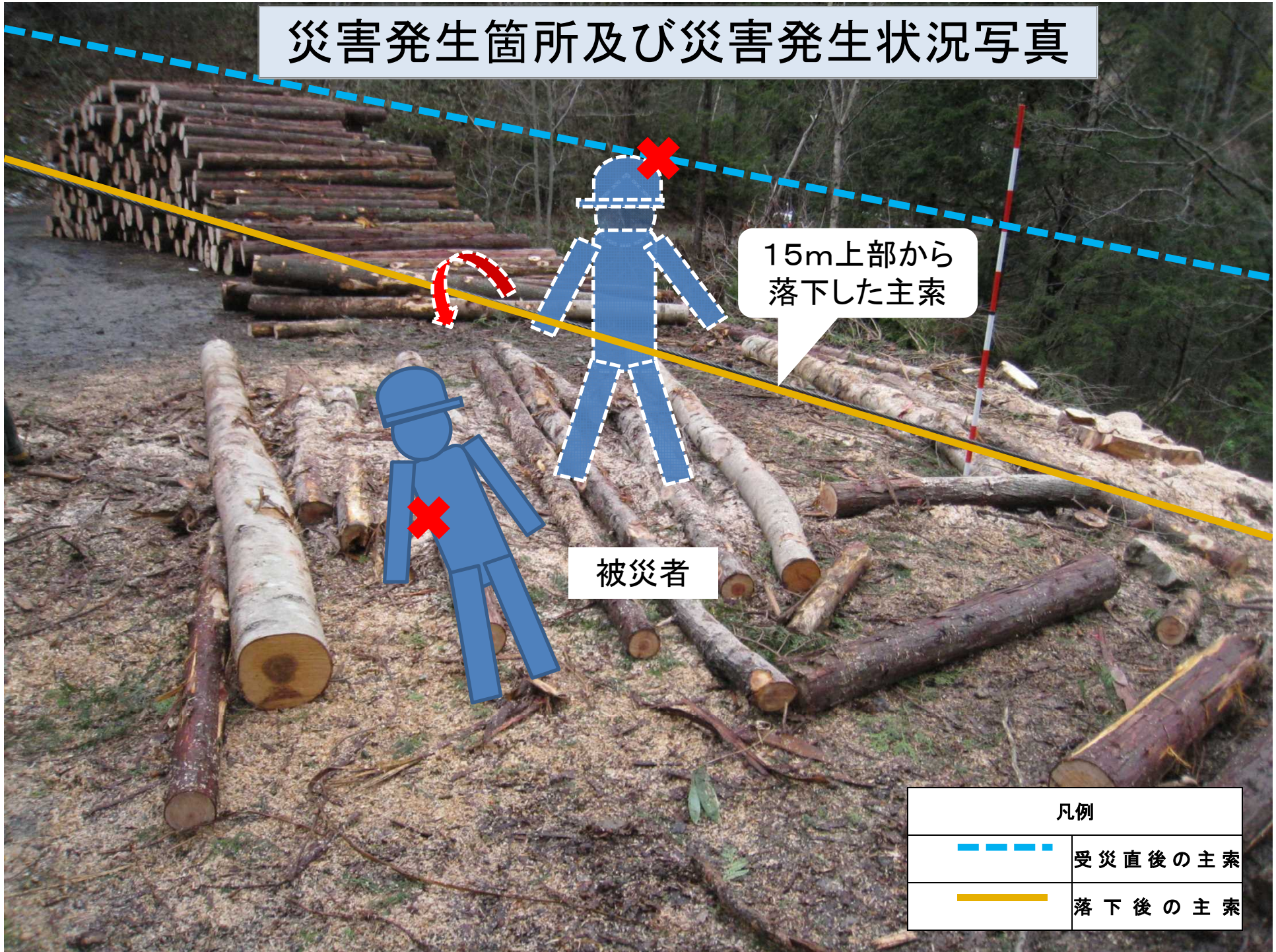
凡例	
A	集材機
B	グラップル
C~F	伐倒・荷掛

0 250[m]

1:5,000



# 災害発生箇所及び災害発生状況写真





# 索張り状況見取り図(先柱付近)

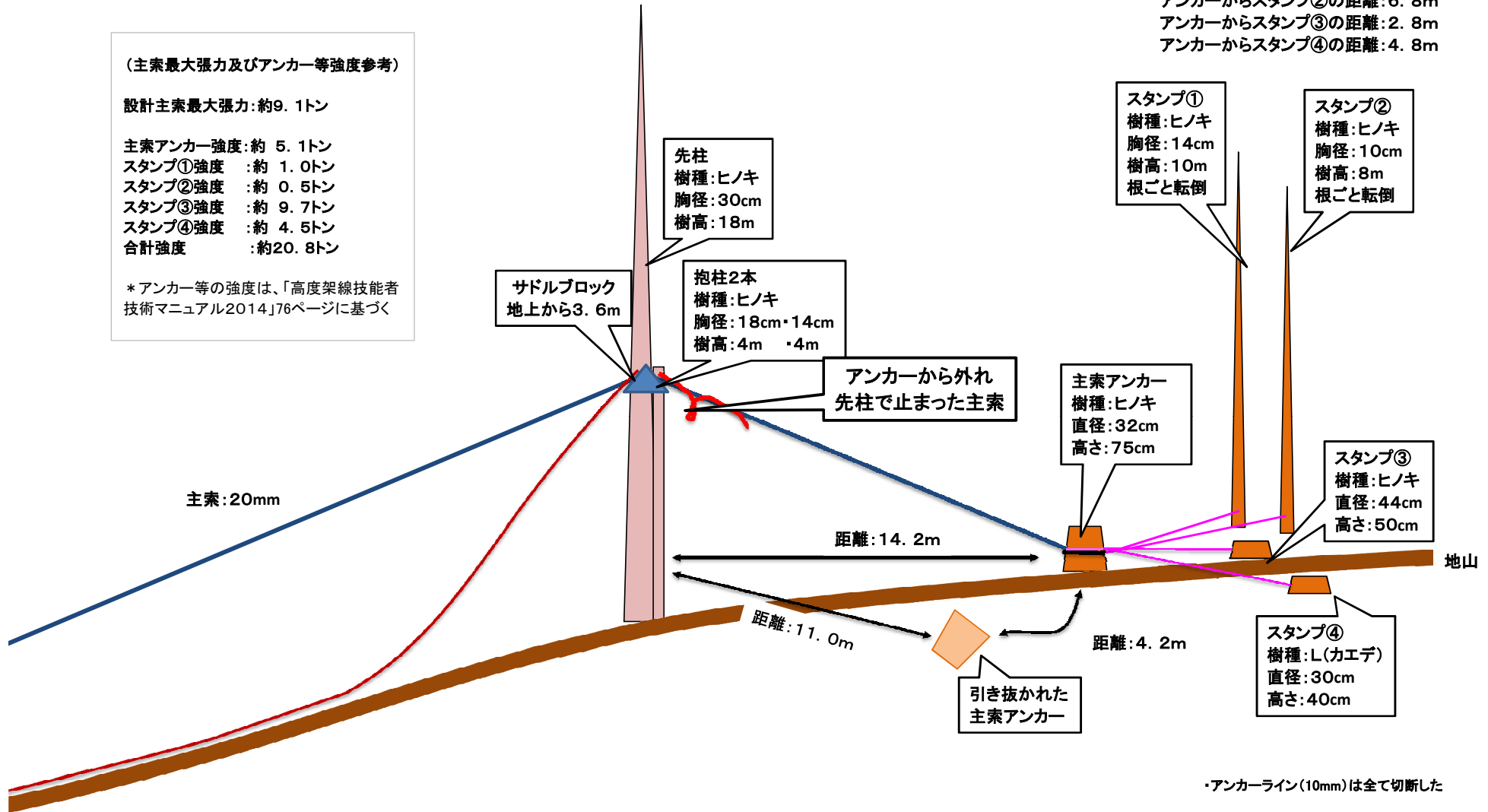
(主索最大張力及びアンカー等強度参考)

設計主索最大張力: 約9.1トン

主索アンカー強度: 約 5.1トン  
 スタンプ①強度 : 約 1.0トン  
 スタンプ②強度 : 約 0.5トン  
 スタンプ③強度 : 約 9.7トン  
 スタンプ④強度 : 約 4.5トン  
 合計強度 : 約20.8トン

\*アンカー等の強度は、「高度架線技能者技術マニュアル2014」76ページに基づく

アンカーからスタンプ①の距離: 4.8m  
 アンカーからスタンプ②の距離: 6.8m  
 アンカーからスタンプ③の距離: 2.8m  
 アンカーからスタンプ④の距離: 4.8m



# 主索アンカー等状況写真

